



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月6日  
東

上場会社名 明和産業株式会社 上場取引所  
 コード番号 8103 URL <https://www.meiwa.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 毅  
 問合せ先責任者 (役職名) 主計財務部長 (氏名) 小林 敏弘 (TEL) 03-3240-9534  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	31,185	△13.1	528	8.4	316	△50.6	166	△66.9
2020年3月期第1四半期	35,904	△7.8	487	△24.2	640	△16.7	505	△19.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 481百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 △82百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	4.00	—
2020年3月期第1四半期	12.09	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	64,236	31,029	47.9
2020年3月期	65,628	30,982	46.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 30,779百万円 2020年3月期 30,727百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	44.00	—	12.00	56.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点で未定です。

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に大きな影響を及ぼしており、現時点で当社グループの連結業績予想を合理的に算定することが困難であるため、未定と致します。

今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表致します。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	41,780,000株	2020年3月期	41,780,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	16,773株	2020年3月期	16,773株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	41,763,227株	2020年3月期1Q	41,763,227株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としているものであり、実際の業績は今後の様々な要因により大きく異なる場合があります。

なお、2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で未定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症により、経済に大きな影響を受けました。中国経済は回復傾向となりましたが、我が国を始め欧米や東南アジア諸国においては、段階的に社会経済活動を再開しているものの極めて厳しい状況となりました。我が国においては、大都市圏を中心に感染状況が拡大傾向にあり、先行きが見通せない状態となっております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、311億8千5百万円と前年同期の13.1%にあたる47億1千8百万円の減収となりました。営業利益は5億2千8百万円と前年同期の8.4%にあたる4千1百万円の増益、経常利益については、3億1千6百万円と前年同期の50.6%にあたる3億2千4百万円の減益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益については、1億6千6百万円と前年同期の66.9%にあたる3億3千8百万円の減益となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益は4.00円となりました。

主な要因については、新型コロナウイルス感染症の影響が取扱商品の需要や事業活動に多大に影響したことにより、以下のとおりであります。

- ・売上高については、自動車・電池材料事業は堅調に推移したものの、他の事業が需要減等の影響により減少したため減収となりました。
- ・営業利益については、売上高の減少に伴い売上総利益は減少したものの、事業活動制限の影響等により販売費及び一般管理費が大幅に減少したため増益となりました。
- ・経常利益については、営業利益は増加したものの、自動車業界の不振等の影響により持分法適用会社において損失を計上したこと等により、大幅な減益となりました。
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益については、業績に大きく影響する特別利益ならびに特別損失は発生しなかったものの、経常利益の大幅な減少により、大幅な減益となりました。

なお、当年度から新たにスタートする3ヶ年中期経営計画を、新型コロナウイルス感染症による影響を精査し、後日、公表させて頂く予定です。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、当社グループの第一事業部門を分割し、第一事業部門と電池材料事業部に組織変更を行いました。

当社グループは上記組織構造の変更に伴い業績管理区分を変更し、報告セグメントを「第一事業」「第二事業」「第三事業」「自動車・電池材料事業」といたしました。

また、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

なお、セグメントごとの主な事業、事業内容及び主な取扱商品は次のとおりであります。

セグメントの名称	主な事業	事業内容及び主な取扱商品
第一事業	資源・環境ビジネス事業 樹脂・難燃剤事業 医薬関連開発事業	レアアース・レアメタル、環境関連 合成樹脂・難燃剤 原薬・医薬中間体
第二事業	石油製品事業 石油ビジネス開発事業	潤滑油、ベースオイル、添加剤 海外事業開発
第三事業	高機能素材事業 機能建材事業	化学品原料、印刷材料、合成樹脂加工品 機能建材
自動車・電池材料事業	自動車事業 電池材料事業	自動車部品関連事業 電池材料

① 第一事業

売上高は、52億2千9百万円と前年同期の14.4%にあたる8億8千1百万円の減収、セグメント利益につきましては、2千万円と前年同期の25.3%にあたる6百万円の減益になりました。

これは主に各取引が以下の通り推移した結果によるものです。

- ・資源・環境ビジネス事業は、需要低迷により資源関連および環境関連共に低調に推移しました。
- ・樹脂・難燃剤事業は、主に自動車関連の需要低迷により樹脂及び難燃剤は共に低調に推移しました。
- ・医薬関連開発事業は、総じて低調に推移しました。

② 第二事業

売上高は、96億4千3百万円と前年同期の16.2%にあたる18億7千万円の減収、セグメント利益につきましては、2億6千万円と前年同期の10.8%にあたる3千1百万円の減益になりました。

これは主に各取引が以下の通り推移した結果によるものです。

- ・石油製品事業は、国内の潤滑油及び添加剤が低調に推移しましたが、中国向けベースオイル・添加剤は堅調に推移しました。
- また、中国潤滑油事業は建機向け純正オイルを中心に堅調に推移したものの、全体としては低調に推移しました。
- ・石油ビジネス開発事業は、低調に推移しました。

③ 第三事業

売上高は、144億3千6百万円と前年同期の14.9%にあたる25億2千9百万円の減収、セグメント利益につきましては、2億7百万円と前年同期の10.2%にあたる1千9百万円の増益になりました。

これは主に各取引が以下の通り推移した結果によるものです。

- ・高機能素材事業は、加工フィルムは好調に推移したものの、化学品原料及び合成樹脂加工品は低調に推移しました。
- ・機能建材事業は、断熱材は首都圏の建設需要が減少したため、また防水資材は天候不順及び一部商品の取り扱いを中止したため、共に低調に推移しました。
- ・全体としては、売上高は低調となったものの、販売管理費の減少もありセグメント利益は増益になりました。

④ 自動車・電池材料事業

売上高は、18億7千5百万円と前年同期の54.2%にあたる6億5千8百万円の増収、セグメント損失が2億2千3百万円と前年同期から2億6千5百万円の減益（前年同期は4千1百万円の利益）になりました。

これは主に各取引が以下の通り推移した結果によるものです。

- ・自動車事業は、持分法適用会社において損失を計上したことにより減益となりました。
- ・電池材料事業は、自動車用などの電池材料の需要が持ち直しました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前年度末の2.1%にあたる13億9千2百万円減少の642億3千6百万円となりました。

流動資産は、主に売上債権やたな卸資産の減少により、前年度末の3.2%にあたる16億2千6百万円減少の491億2千4百万円となりました。

固定資産は、主に有形固定資産及び無形固定資産の増加により、前年度末の1.6%にあたる2億3千4百万円増加の151億1千1百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前年度末の4.2%にあたる14億3千9百万円減少の332億6百万円となりました。

流動負債は、主に仕入債務や未払法人税等の減少により、前年度末の6.6%にあたる20億6千4百万円減少の292億7千2百万円となりました。

固定負債は、主に長期借入金金の増加により、前年度末の18.9%にあたる6億2千4百万円増加の39億3千3百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前年度末の0.2%にあたる4千7百万円増加の310億2千9百万円となりました。

この結果、自己資本比率は47.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大が当社グループに与える影響を、現時点では合理的に把握することが困難であるため、引き続き未定とさせていただきます。

今後、連結業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表致します。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,985	7,327
受取手形及び売掛金	35,039	34,411
商品	7,517	6,780
その他	1,362	729
貸倒引当金	△152	△125
流動資産合計	50,751	49,124
固定資産		
有形固定資産	1,092	1,240
無形固定資産	133	257
投資その他の資産		
投資有価証券	12,554	12,657
その他	1,213	1,068
貸倒引当金	△116	△112
投資その他の資産合計	13,651	13,613
固定資産合計	14,877	15,111
資産合計	65,628	64,236
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,201	22,532
短期借入金	4,493	5,247
1年内返済予定の長期借入金	500	—
未払法人税等	660	94
賞与引当金	602	395
受注損失引当金	259	—
その他	620	1,003
流動負債合計	31,337	29,272
固定負債		
長期借入金	50	550
役員退職慰労引当金	30	30
退職給付に係る負債	1,264	1,263
その他	1,964	2,089
固定負債合計	3,309	3,933
負債合計	34,646	33,206

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,024	4,024
資本剰余金	2,761	2,761
利益剰余金	23,058	22,806
自己株式	△4	△4
株主資本合計	29,840	29,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,753	2,154
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	△286	△411
退職給付に係る調整累計額	△579	△551
その他の包括利益累計額合計	887	1,190
非支配株主持分	254	250
純資産合計	30,982	31,029
負債純資産合計	65,628	64,236

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	35,904	31,185
売上原価	33,233	28,993
売上総利益	2,670	2,191
販売費及び一般管理費	2,183	1,662
営業利益	487	528
営業外収益		
受取配当金	65	34
持分法による投資利益	134	—
その他	23	23
営業外収益合計	223	58
営業外費用		
持分法による投資損失	—	222
その他	70	47
営業外費用合計	70	270
経常利益	640	316
特別損失		
投資有価証券売却損	—	1
投資有価証券評価損	—	1
その他	0	0
特別損失合計	0	2
税金等調整前四半期純利益	640	313
法人税、住民税及び事業税	106	71
法人税等調整額	23	68
法人税等合計	129	139
四半期純利益	510	173
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	505	166

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	510	173
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△230	344
繰延ヘッジ損益	△2	1
為替換算調整勘定	△279	△33
退職給付に係る調整額	15	22
持分法適用会社に対する持分相当額	△95	△28
その他の包括利益合計	△592	307
四半期包括利益	△82	481
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△85	470
非支配株主に係る四半期包括利益	3	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	第一事業	第二事業	第三事業	自動車・ 電池材料事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,111	11,513	16,966	1,216	35,807	96	35,904
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	30	3	—	59	1	61
計	6,137	11,543	16,970	1,216	35,867	97	35,965
セグメント利益 又は損失(△)	27	292	187	41	549	△9	540

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、硝子製品事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	549
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△9
セグメント間取引消去	33
全社費用(注)	67
四半期連結損益計算書の経常利益	640

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	第一事業	第二事業	第三事業	自動車・ 電池材料事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,229	9,643	14,436	1,875	31,185	—	31,185
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22	19	6	—	48	—	48
計	5,252	9,662	14,442	1,875	31,233	—	31,233
セグメント利益 又は損失(△)	20	260	207	△223	264	—	264

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、硝子製品事業を含んでおりますが、当事業セグメントは関係会社を清算中であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	264
「その他」の区分の利益又は損失(△)	—
セグメント間取引消去	△12
全社費用(注)	65
四半期連結損益計算書の経常利益	316

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当社グループの第一事業部門を分割し、第一事業部門と電池材料事業部に組織変更を行いました。

当社グループは上記組織構造の変更に伴い業績管理区分を変更し、報告セグメントを「第一事業」「第二事業」「第三事業」「自動車・電池材料事業」といたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

詳細につきましては、「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご参照ください。